

特集

孔子の 人間学



守屋 洋 & 佐久協
安岡定子 & 祐木亜子
岩越豊雄 & 濱戸謙介
齋藤孝 & 渋澤健
加地伸行 & 石平

の方々から
になります

した。就職を果たした子供たち
の評判は大変よく、カンボジア
でトップクラスの教育を実践
している自負があります。

え子も先生としても授業を行い、
六十一年の児童が学んでいます。
夕方の語学等の授業を含めれば、
通生は九十名弱です。

私の念頭からは、この教育を
通じて彼ら一人ひとりに幸せになつてほしいという願いが片時
も離れません。コネ社会で、モ
ラルの低いカンボジアでは、一
所懸命に勉強しても必ずしもよ
い就職に結びつくとは限らない
のです。彼らの自立に少しでも
役立てばと考え、学校では英語、
日本語、コンピュータといった
表字も教えています。

さらに特徴的なのが、音楽、
美術(図工)を通じての情操教
育にも力を入れている点です。

美しさの価値が理解できるよう
になれ、自分の醜い姿を人に
晒したくないという意識が働く
ようになり、それは貧しさにも
負けない忍耐力の醸成にも結び
つくはずです。

社会科教員だった私は、五十
歳で初めてピアニカを手に取
り、国に童謡の楽譜のない彼ら
に日本の「日の丸」「こきりこ
節」といった童謡唱歌を教えま

いただく、外出支援専門員のこ
とです。

例えばこんな事例があります。

お嫁さんが重い介護状態のお母
様の世話をされており、たまに
旅行に連れ出してあげたいけ
ど、自分一人では介助が大変
だと困っていました。そこで女
性一人のトラベルヘルパーが同
行し、お母様は綺麗な景色を温
泉に浸かりながら見ることがで
き、すぐ嬉しかったと言つて
くださいました。

また、お嫁さん自身もお母様
の表情を見て、「また介護を一
所懸命しようという気になりました」と言つてくださり、いま
では年に二回の温泉旅行をとて
も楽しみにしておられます。

このように、ご本人はもちろ
んのこと、介護をしておられる
ご家族の方々のよい気分転換に
も繋がり、それがお互いの絆を
深める機会にもなるのでしよう。

私たちがお手伝いをするのは
旅行だけではありません。

暮らす母と子が数時間だけ一緒に
の外出を楽しんだり、お孫さん
の七五三祝いに行かれる方など
ご要望も様々で、昨年はおかげ
さまで一昨年度の一倍近い五百

名のお客様にご利用いただきま
した。

社内にはスタッフ約十名が常
駐し、お客様からご相談がある
と縦密に打ち合わせを重ね、全
国各地にいる六百五十名の登録
トラベルヘルパーの方へ業務を
依頼します。

弊社は、私の夫である篠塚恭
一が一九九一年に創業しました。
その頃私は三人の子供を育てな
がら、経理や会計の手伝いなど
をしていました。

夫はその前に先輩に誘われて
別の会社を立ち上げたのですが、
バブルの煽りを受けて経営が立
ちゆかなくなり、残った六十数
名の派遣契約のスタッフを食べ
させていくのに四苦八苦してい
ました。

私は会社の状況は詳しく分
からないのですが、お金が
ない、ということは分かります。
私も親元から借金をしたり、保
険会社から貸し付けをしてもら
いました。

私は介護をしておられる
ご家族の方々のよい気分転換に
も繋がり、それがお互いの絆を
深める機会にもなるのでしよう。

私たちがお手伝いをするのは
旅行だけではありません。

暮らす母と子が数時間だけ一緒に
の外出を楽しんだり、お孫さん
の七五三祝いに行かれる方など
ご要望も様々で、昨年はおかげ
さまで一昨年度の一倍近い五百

うなど、自分にできるあらゆる
ことをやりました。

ただ、私はこのような状況に
あつても、なぜか不安や危機感
はなく、むしろその状況を「楽
しい」とさえ感じていました。

当時弊社はツアーコンダクタ
事業をメインにしていましたが、
夫は介護つきの旅行がシニア層
にとつて一番いいことなのかな
ないかと、時折私にも話していく
っていました。

いつものように車で夫を駅へ
と送る途中、「これからはどう
いう時代になるのかな。何がう
ちにとつて一番いいことなのかな
な?」と質問をされました。そ
の時、私はとっさに「これから
はトラベルヘルパーの時代だと
思う」と言つたことをはつきり
覚えていました。新たな事業に対
するこの確信ともいえる思いが
あつたからこそ、どんなに大変
なことがあってもそれを支えに、
乗り越えてこられたのではないか
かと思うのです。

これは介護旅行を利用される
お客様の場合でも同様で、この
先に何か楽しいことがあると思
えると、どんな辛さや苦労です
ら乗り越えるようになるのではな
いかと思うのです。

これは介護旅行を利用される
お客様の場合でも同様で、この
先に何か楽しいことがあると思
えると、どんな辛さや苦労です
ら乗り越えるようになるのではな
いかと思うのです。

太学から天文学の道に進み、
宇宙の電波を観測する電波天文
学を専門に研究し始めて真っ先
に行つたのは、世界最小の電波
望遠鏡作りに参加することでした。
アンテナの直径は約六十九
メートル。少人数のチームで一から四
面を引き、小さいながらも空を
広範囲にわたり観測できる望遠
鏡を作り上げました。そうする
と今度はもつと大きな望遠鏡で、
さらに細かい観測を行いたいと
いう欲求が生まれました。

一九八〇年代当時、長野県の
野辺山に、世界最先端の電波天
文台が完成していました。一つ
の大きな望遠鏡と複数の小さな
望遠鏡があり、小さいほうは組
み合わせることで、一つの巨大
な望遠鏡として機能するもので
した。

この小さい望遠鏡を増やして
性能を増強する構想が浮上した
のですが、やがて日本国内のよ
うな気象条件のよくないところ
に大規模な望遠鏡を設置するこ
との意義が問われるようになり
ました。そして新たな建設地の
可能性として浮かび上がったの
がチリだつたのです。専任スタッ
フとして次世代の電波望遠鏡
計画を走らせる役を担つていた

の方々から
になります

え子も先生としても授業を行い、
六十一年の児童が学んでいます。
夕方の語学等の授業を含めれば、
通生は九十名弱です。

私の念頭からは、この教育を
通じて彼ら一人ひとりに幸せになつてほしいという願いが片時
も離れません。コネ社会で、モ
ラルの低いカンボジアでは、一
所懸命に勉強しても必ずしもよ
い就職に結びつくとは限らない
のです。彼らの自立に少しでも
役立てばと考え、学校では英語、
日本語、コンピュータといった
表字も教えています。

さらに特徴的なのが、音楽、
美術(図工)を通じての情操教
育にも力を入れている点です。

美しさの価値が理解できるよう
になれ、自分の醜い姿を人に
晒したくないという意識が働く
ようになり、それは貧しさにも
負けない忍耐力の醸成にも結び
つくはずです。

社会科教員だった私は、五十
歳で初めてピアニカを手に取
り、国に童謡の楽譜のない彼ら
に日本の「日の丸」「こきりこ
節」といった童謡唱歌を教えま

ア竹と風の学校校長

ア竹と風の学校校長

こととも嬉しいことです。
私は二年前、NPO法人日本
トラベルヘルパー協会理事長に
なった夫に代わって、弊社の社
長を継ぎました。現在ではトラ
ベルヘルパーの存在も徐々に知
られつつありますが、会社を始
めた頃は、偽善だのお金儲け主
義だのと夫は様々な詐譯中傷に
えた途端、社員数十人がごつそ
り辞めてしまい、売り上げが七
割減に陥ったこともあります。

私はそんな夫の事業を手伝い
ながら、幼い頃、祖母がいつも
言つて聞かせてくれた言葉
を常に反芻していました。

「いいことをしても、悪いこと
をしても、地球を二回廻ると、
自分が元に戻つてくる。」

情けは人のためならずとい
ますが、誰かのために一所懸命
ことには當たつていれば、それは
いかと感じています。

私は思いもよらない言葉で
お客様の喜ぶ姿に感動し、「サービスの質を
もっと上げるにはどうしたら
いいか」と皆で活発に意見を出し
合いながら、主体的に取り組ん
でくれるスタッフが増えてきた

巡り巡つて自分自身に返つてく
る。おかげさまで、弊社は現在
創業二十年を迎え、売り上げも
一億七千万円にまで発展させて
いただきました。弊社の事業を
通じて、祖母が聞かせてくれた
言葉の重みを日々ことに実感して
います。

(しのづか・ちひろ)SPI
あ・える俱樂部社長

南米・チリ共和国。アンデス
山脈と太平洋の間に、標高五千
メートルの寂寥とした高原が広がりま
す。湿気も大気の揺らぎも、人
造物の放つ光も希なこの地では、
かすかな星の光をも遮るものがあ
りません。ここアタカマ砂漠
が地上で最も星空の美しい場所
といわれる所以です。

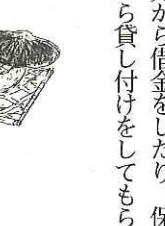
天体観測に適したこの砂漠で、
今年世界最大級の電波望遠鏡が
稼働を開始しました。その名は
アルマ望遠鏡。大阪にある一円
玉を東京から見分けられるほど
の高い精度を持つこの装置には、
これまで謎とされてきた新しい
天体を発見する期待が込められ
ています。宇宙の、星たちの、

私たち生命体の起源とは何か。
様々な神秘を解き明かす限りな
い可能性を秘めたアルマ望遠鏡
の始動は、人類の偉大なる一步
だといえるでしょう。

地球を半周してようやく辿
着くこの望遠鏡ですが、その建
設設計画の原点は実は日本にあり
ました。構想の開始から約三十
年をかけて、日本・米国・欧洲
の三者による国際協力のもと成
長し、今日に至つたのです。そ
してこの天文学史上最大のプロ
ジェクトこそが、私の天文学者
としての歩みの出発点でした。

天文研究への志が芽生えたの
は、十五歳の時です。「コスマ
ス」という宇宙番組のテレビシ
リーズを見て、「宇宙の浜辺で」
と題された最初の放送に衝撃を
覚えました。構想の開始から約三十
年をかけて、日本・米国・欧洲
の三者による国際協力のもと成
長し、今日に至つたのです。そ
してこの天文学史上最大のプロ
ジェクトこそが、私の天文学者
としての歩みの出発点でした。

私たちにはまだ宇宙という大海
原の浜辺で水遊びをしているよ
うなもので、地球から宇宙に出
ていくことは、大洋に乗り出し
ていくようなことだとその番組
は伝えていたのです。天空に限
りない未知の世界の広がりを垣
間見て、宇宙を研究するという
のはなんと素晴らしいことなの
だろと園志がメラメラと燃え
ました。



これは介護旅行を利用される
お客様の場合でも同様で、この
先に何か楽しいことがあると思
えると、どんな辛さや苦労です
ら乗り越えるようになるのではな
いかと思うのです。

これは介護旅行を利用される
お客様の場合でも同様で、この
先に何か楽しいことがあると思
えると、どんな辛さや苦労です
ら乗り越えるようになるのではな
いかと思うのです。

太学から天文学の道に進み、
宇宙の電波を観測する電波天文
学を専門に研究し始めて真っ先
に行つたのは、世界最小の電波
望遠鏡作りに参加することでした。
アンテナの直径は約六十九
メートル。少人数のチームで一から四
面を引き、小さいながらも空を
広範囲にわたり観測できる望遠
鏡を作り上げました。そうする
と今度はもつと大きな望遠鏡で、
さらに細かい観測を行いたいと
いう欲求が生まれました。

一九八〇年代当時、長野県の
野辺山に、世界最先端の電波天
文台が完成していました。一つ
の大きな望遠鏡と複数の小さな
望遠鏡があり、小さいほうは組
み合わせることで、一つの巨大
な望遠鏡として機能するもので
した。

この小さい望遠鏡を増やして
性能を増強する構想が浮上した
のですが、やがて日本国内のよ
うな気象条件のよくないところ
に大規模な望遠鏡を設置するこ
との意義が問われるようになり
ました。そして新たな建設地の
可能性として浮かび上がったの
がチリだつたのです。専任スタッ
フとして次世代の電波望遠鏡
計画を走らせる役を担つていた

こととも嬉しいことです。
私は二年前、NPO法人日本
トラベルヘルパー協会理事長に
なった夫に代わって、弊社の社
長を継ぎました。現在ではトラ
ベルヘルパーの存在も徐々に知
られつつありますが、会社を始
めた頃は、偽善だのお金儲け主
義だのと夫は様々な詐譯中傷に
えた途端、社員数十人がごつそ
り辞めてしまい、売り上げが七
割減に陥ったこともあります。

私はそんな夫の事業を手伝い
ながら、幼い頃、祖母がいつも
言つて聞かせてくれた言葉
を常に反芻していました。

「いいことをしても、悪いこと
をしても、地球を二回廻ると、
自分が元に戻つてくる。」